

(1) 丸の内ガラーヂ西北裏側。大手町電車通から見たところ。

實用を主眼として建築された自動車ビル

丸の内ガラーヂと其特徴

我國に於ける自動車の数は最近著しく増加して、乗用と貨物車を合すれば、約7萬3千餘臺に上ると云ふ。勿論人口4.9人に對して1臺の自動車を持つてゐると云ふアメリカなみの割にすれば、まだまだ及びもつかないがそれでも銀座、丸の内邊の街路を馳驅する自動車の数は實に夥しいものだ。試みに丸ビル郵船ビル等の大ビルディングを中心とした、丸の内界限の事務所街に足を踏み入れて見るならば、其處には自動車の氾濫である。是等各會社事務所等の前に、大道狭しとばかりにすらり並んでゐる自動車の数は、毎日少なくとも四五百臺を下らないと云ふ。

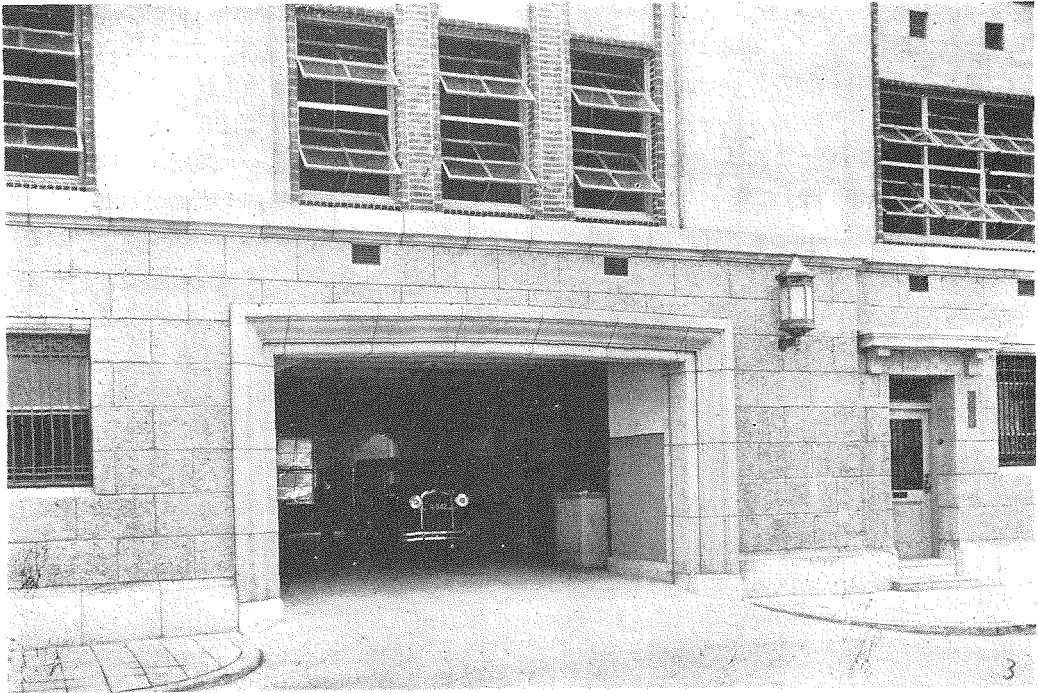
必要は一切の物を産むと云ふ經濟學の法則に従へば、路側駐車に因つて生ずる交通の混雜を防ぐためだけに、當然是等の夥しい自動車を、その休息時間中格納すべきガラーヂが生れて來なければならぬ譯である。丸の内正金銀行の横向に建設された丸の内ガラーヂが夫だ。此のガラーヂは我國に於けるパーキング・ビルディングのトップを切つたもので

ある。

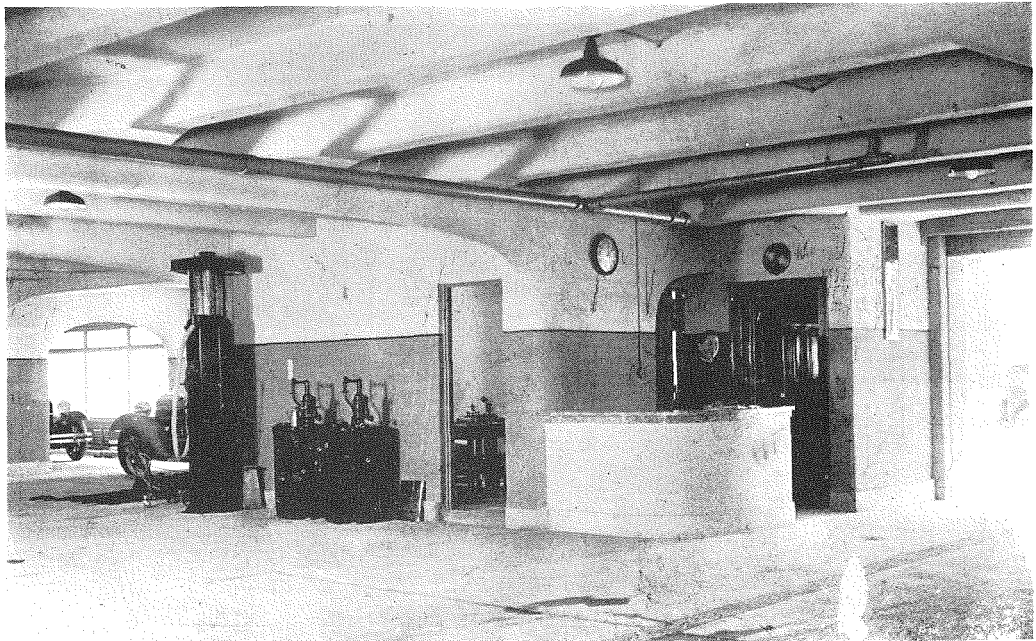
ガラーヂ建築は最初自動車の出生地である佛蘭西で發達したものだが、今や何事にも世界一のアメリカが、世界一の自動車数を擁する事に依つて、ガラーヂ建築に於ても長足の發達を遂げて、先輩の佛蘭西をして後に撞着たらしめ、1千臺以上の收容力を有するパーキング・ビルをザラに持つてゐると云ふ。従つて之が建築構造の研究されてゐるのは技術的にも經濟的にもアメリカが第一である。

處で丸の内に建てられた我國最初のパーキング・ビルは如何なる構造かと云ふと、實用新案109323號水嶋式と稱するもので大體に於て米國の標準に據つたものだが、我國特種の事情もあるので、其設計には相當の苦心が拂はれたのである。建物は鐵筋混凝土造6階建、延2,500坪で約250臺の自動車を收容出来ると云ふ大掛りなものだ。

此の構造はランプシステムと云つて、エレベーターを使用せず自動車の運轉に依つて、何階へでも自由に出入出来る一種の斜道式で



(2) 正面出入口。此ビルディングはすべて混凝土打ち放しであるが、1階（一部地階）の外廻りだけは混凝土人造石で張り立てゝある。



(3) 1階事務所附近。寫眞左端が出入口、その傍が見張所及運轉手用エレヴーター、中央が事務室の入口で左端は車庫。

ある。建物全體が或る個所で中斷され、其一半の床面を他の床面と、床間の半分だけ食違ひに造り、各床に斜道を設けて通路と連絡する云ふ仕組なのである。従つて一方の床と他の床の間は極めて低く約5尺5寸に過ぎないから、自動車は片手ハンドルで樂々昇つて行ける。斜道の幅は13尺勾配は急な處で $\frac{1}{6}$ 。收容臺數300臺以下なら斜道を複線にしないで好い云ふアメリカの標準に従つたものである。斜道その他の側壁には見通しの窓が明いてゐて、衝突その他の事故を防止する事になつてゐる。

此の建築工事に就て特に注意すべきは、建物の内外共何等の裝飾及上塗も施さず凡て混凝土打放しにしてある點である。つまり頑丈に安く云ふのが此建物の主眼で、混凝土は1:2:4の配合を用ひ、タスランプを計つて水量を加減し、努めて強度を均整ならしめた云ふ。基礎は杭打で約50尺の松杭が使はれた。型板は全部正7分板を使つて目違なきの出来ぬ様特に注意され、拱の部分には鐵板を使用して弧の正確を期し、また堰板を支へ

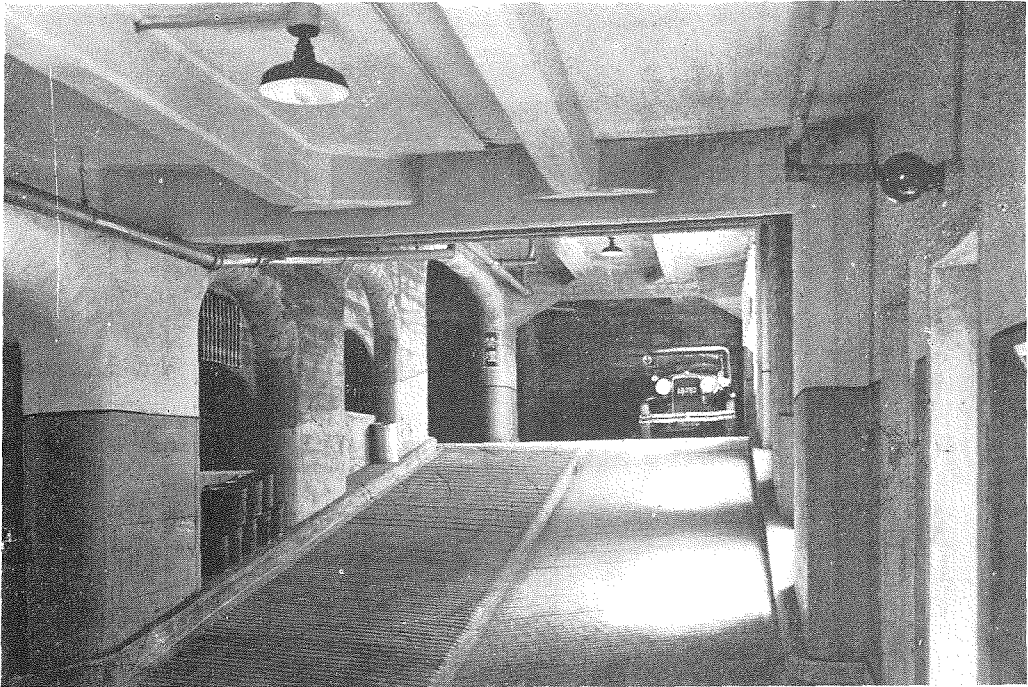
るサツポートは3尺間毎に嚴重に入れられた混凝土の練り方も特別に留意され、ミキサーで一練りを30回以上も練り返し、充分混合されるのを待つて型に注ぎ込んだ云ふ。鐵筋は普通のビルディングと殆んど等しく、混凝土1立坪に對して約1噸餘の割合に挿入された。

以上の如き注意に依つて、混凝土を非常に良く仕上げる事が出来た。此の良さを生かす爲、つまり混凝土の生肌を其儘見せる爲に、防水劑としては透明なコンクリート・サアフェーサー（アメリカのフラー會社製）が塗布されてゐる。其他は1階外廻りが混凝土人造石張りになつてゐるだけで何等の表面仕上を施さない事前に云つた通り。

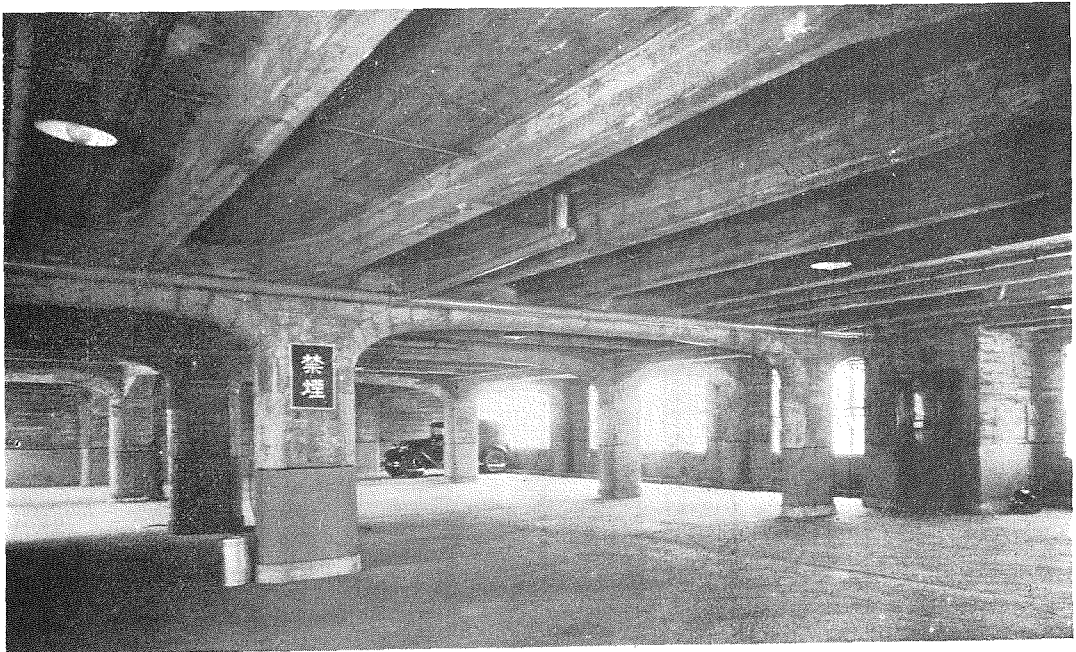
ガラーヂ建築に就て厄介なのは、自動車の幅が交々な事だが、一之が建物の大きさを支配する規準なのだから一丸の内ガラーヂでは此のスペースを約6呎10吋と計算し、收容標準臺數200臺とされてゐる。工事は昨年8月に着手され、11ヶ月を費して去8月竣工。工費坪當り約300圓を要したこの事である



(4) 自動車洗場。車輪の $\frac{1}{3}$ がつかる位のプールになつてゐる。泥で汚れた自動車は、入庫前此處で奇麗に洗はれる。

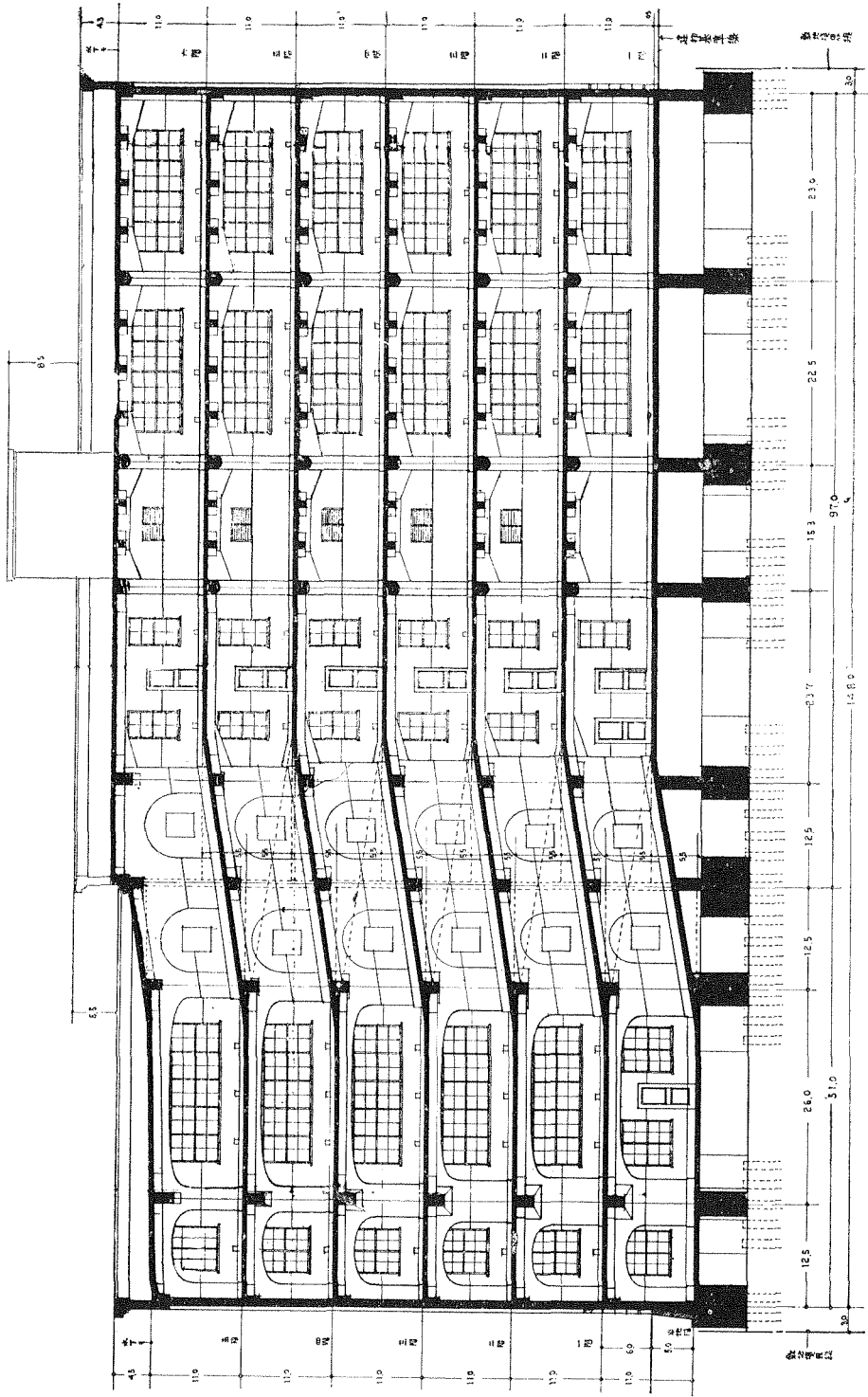


(5) 1階斜道昇り口。斜道には斜り留のため横筋が入れてある。床は磨滅を防ぐためメタルクリートとした。(普通の混凝土を打つた上へ一種の鐵粉を散布する法。結果は表面1分乃至2分へ浸込んで非常に堅くする。)

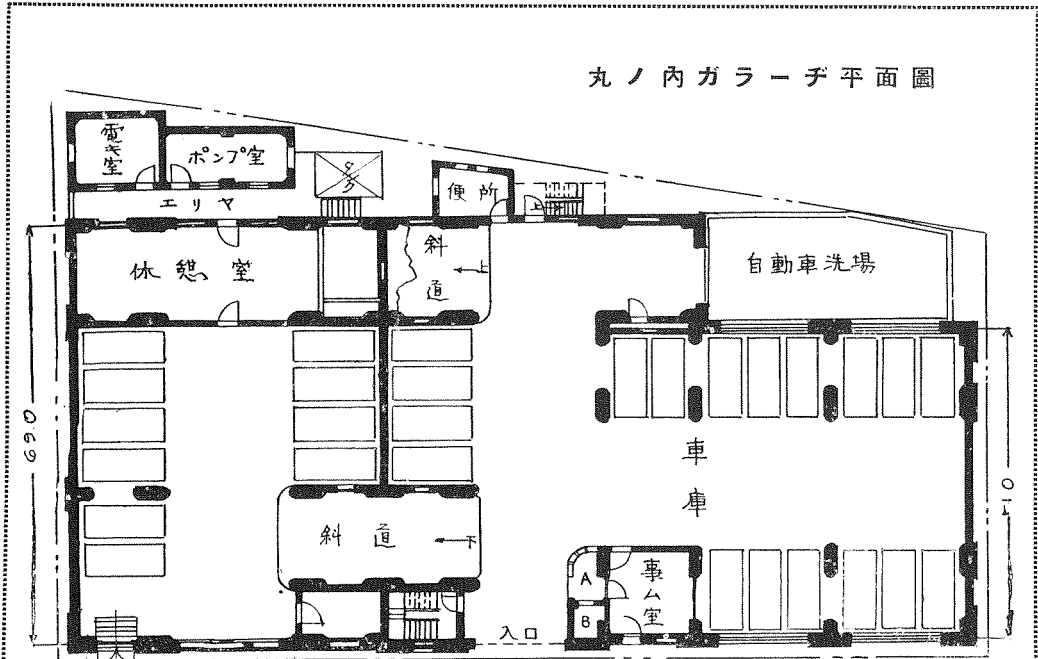


(6) 4階北側内部。車庫及通路の一部で床及天井共混凝土打放し、天井のパイプは床を洗ふための水道管。水は1日4千石を噴き出す井戸から供給される。

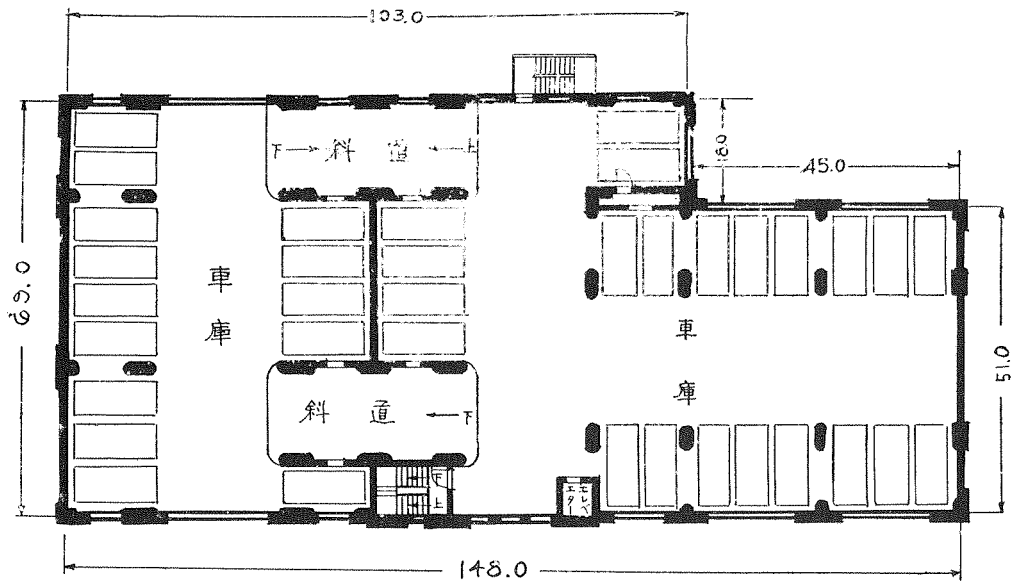
(7) 丸の内ガーデナー切斷圖。特に斜道と階層の構造を示す。



丸ノ内ガラーヂ平面圖



(8) 一階(一部地階)平面圖、小さな長方形は自動車のスペース。Aは見張所、Bはエレベーター。



(9) 同貳階以上平面圖。